

認知症高齢者に対する
非言語性コミュニケーションシグナル
リハビリテーション（NCR）プログラムの
開発と評価に関する研究

認知症高齢者に対する非言語性コミュニケーションシグナル リハビリテーション（NCR）プログラムの開発と評価に関する研究

主任研究者 小長谷陽子（認知症介護研究・研修大府センター）

分担研究者 中村 昭範（国立長寿医療研究センター）

研究協力者 齊藤 千晶（認知症介護研究・研修大府センター）

長屋 政博、井上 豊子（介護老人保健施設ルミナス大府）

A. 研究の背景及び目的

認知症高齢者においては、症状の進行に伴って言葉によるコミュニケーションが次第に困難となり、介護・看護や本人の QOL にも大きな影響を与える要因となる。しかし人のコミュニケーションは言語によるものだけではなく、顔の表情、視線、ジェスチャーといった非言語性の情報を介しても行われている。これらの「非言語性シグナル」は、相手の心の状態を理解し「心を通わせる」ために、言語以上に大切な役割を果たしている。

我々はこれまでの研究で、まず認知症が進行しても、表情・視線・ジェスチャーといった社会的シグナルの認知能力や、握手・挨拶といった社会的慣習遂行能力は、比較的残存しやすいことを明らかにした [1, 2]。次にこれらの結果を基に、非言語性シグナルを積極的に用いたリハビリテーションプログラム「NCR」を開発して、実際にそれを認知症高齢者に応用・検証し、NCR が非言語シグナルの認知能力やコミュニケーション能力を有意に高める効果があることを明らかにしてきた [3, 4]。

今年度は、これらの研究で得られた成果を、なるべくわかりやすい形で介護・看護の現場に還元することを目的として、手引き書の作成に取り組んだ。作成に当たっては、実際に認知症高齢者の介護・看護現場で働くスタッフ 65 人にアンケートを行い、読者の立場からのフィードバックを受けて内容・表現・デザイン等を改善しながら完成に向かった。また、同時に手引き書の有用性についても評価を行ってもらった。

B. 方法

【作成コンセプト】

今回の手引き書作成に当たり、まず次のコンセプトを決定した。

1. ターゲットとなる読者層は、認知症の介護・看護にあたる現場スタッフとする。
2. なるべく平易な表現とし、イラストも多用して、読みやすく、わかりやすいものとする。
3. 現場スタッフに有用とじてもらえるものを作成する。
4. 心に残りやすいキャッチフレーズを埋め込む。

【主たる内容】

手引き書を通じて伝えたい内容を、主に次の3章にわけて解説することとした。

1. 非言語性コミュニケーションシグナルについての概説
2. 認知症介護における非言語シグナルを用いたコミュニケーションの重要性の説明
3. NCR の内容・効果、及び NCR を実際の介護・看護現場で実践していくための手引き

【アンケートによるフィードバックと評価】

今回のターゲット読者層である認知症介護・看護の現場スタッフに、仮編集された手引き書を読んだ上でアンケートに答えてもらい、内容・表現・デザイン等の改善に反映させて手引き書の完成に役立てた。また、同時に手引き書の有用性についての評価も行ってもらった。

＜アンケートの対象＞

介護老人保健施設ルミナス大府、及び、非特定営利活動法人・福祉サポートセンターさわやか愛知のスタッフ 65 名（20-72 才、平均 45.7 ± 12.3 才）。性別は、女性 52 名、男性 12 名、無記名が 1 名である。それぞれの専門職種は、介護士が約 7 割、看護師が約 2 割で、詳細は Table 1 及び図 1 に示すとおりである。

Table1: 専門職種の内訳

職種	人数	%
介護士	44	68%
看護師	12	18%
ケアマネジャー	5	8%
電話相談員	2	3%
管理者	1	2%
未記入	1	2%

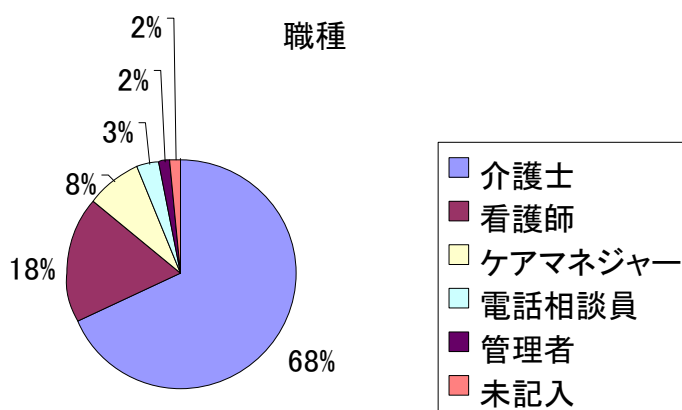


図1

＜アンケートの内容＞

アンケートは文末に添付した内容で、質問は全部で 44 問である。表紙を含む全ページについてそれぞれ、内容のわかりやすさ、デザインや表現の適切性を 4 段階もしくは 5 段階で評価してもらい、同時に、手引き書の情報が有用なものであるかどうかも項目毎に評価を行ってもらった。最後に、手引き書全体についても同様に、表現の適切性や有用性を評価してもらった。これらの質問項目のうち、特にマイナスの評価を与えられた場合には、具体的な改善点のアドバイスも記入してもらい、手引き書の完成版作成に役立てた。

C. 結果及び考察

【手引き書】

後述のアンケート結果を参考に、3 回以上の改訂を重ねながら別途添付の「言葉以外のコミュニケーションを用いた認知症の介護とリハビリのご紹介」と題した手引き書を完成させた。ボリュームは 18 ページ、表紙、背表紙を含め全 20 ページである。「非言語性コミュニケーションシグナルリハビリテーション」あるいは「NCR」という言葉はわかりにくく親しみやすさも得られにくいと考え、新たに「にこにこリハ」という呼称を用いることにし、「笑顔で介護を！「にこにこリハ」で心もにっこり！」といったサブタイトルのキャッチフレーズをつけた。

内容は、手引き書の目的と概要を記載した「はじめに」に続き、1. 非言語性コミュニケーションシグナルについて概説した「言葉以外のコミュニケーションの重要性を理解しよう」（3 ページ）、2. 認知症介護における非言語シグナルを用いたコミュニケーションの重要性の説明を行った「認知症とコミュニケーション」（3 ページ）、3. NCR の内容・効果、及び NCR を実際の介護・看護現場で実践していくための手引きを解説した「にこにこリハ実践編」（9 ページ）を記載し、最後に「おわりに」で全体をまとめた。

【アンケート結果】

全ての設問に対し 97%以上の有効回答が得られ、全体の平均有効回答率は 97.5%であった。また、総数 310 の改善のためのアドバイスを受けた。

1. デザインや表現について

アドバイスの約 7 割はデザインに関するもので、これらを参考に、読みやすいフォントの大きさ、配色、イラスト等を改訂していった。また約 2 割は記載、特にわかりにくい専門用語の使用に対する改善アドバイスであり、例えば「エビデンス」「MMSE」といった用語はそれぞれ「研究結果」、「簡易認知機能検査」といったよりわかりやすい言葉に変更した。また、科学的で堅苦しい文章の表現は避け、なるべく平易な表現に変更した。

2. 内容のわかりやすさについての評価

Table 2 に及び図 2 に、各ページ毎のわかりやすさと全体を通しての平均の評価を示す。全ページの平均で「少し難しい」「かなり難しい」といった回答は 5%のみであり、全体的に現場スタッフにとってはわかりやすい内容となっていることが確認された。ページ毎に見ても難しい（少し、あるいはかなり難しい）と評価されたのは P7、P9-10 のみであった。全てのページにおいて改善アドバイスを参考に改訂を行ったので、完成版では更に内容はわかりやすくなっているものと考えている。

Table 2: ページ毎のわかりやすさの評価

	P1	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9-10
よく理解できた	50%	49%	61%	53%	39%	38%	70%	30%
まあまあ理解できた	38%	37%	28%	30%	38%	39%	28%	42%
普通	9%	13%	11%	11%	14%	14%	0%	16%
少し難しい	3%	2%	0%	6%	9%	8%	0%	8%
かなり難しい	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	5%
	P11-12	P13	P14	P15	P16	P17	P18	平均
よく理解できた	67%	51%	59%	48%	59%	39%	58%	51%
まあまあ理解できた	23%	30%	33%	38%	30%	44%	31%	34%
普通	6%	14%	8%	10%	9%	13%	9%	10%
少し難しい	3%	5%	0%	5%	2%	3%	2%	4%
かなり難しい	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	1%

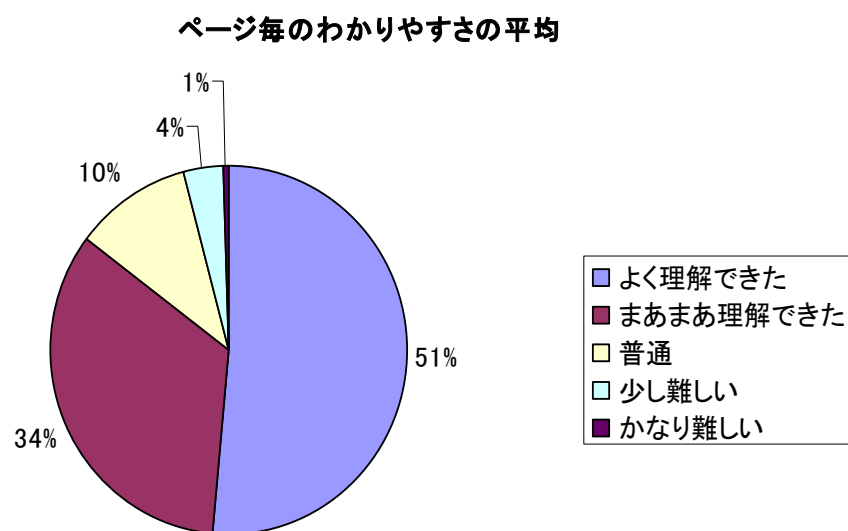


図 2

3. 個々の情報の理解度、有用性に対する評価

今回の手引き書で紹介した個々の内容について、元々知っていたか、新たに知った事柄か、集計した内容を Table 3 に示す。その結果、言葉以外に非言語コミュニケーションシグナルがあることや、気持ちを伝えるのにそれが大切であることについては 90%以上の人が「よく知っていた」あるいは「まあまあ知っていた」と回答し、認知症のケアに携わる現場スタッフにとって常識的な事柄であることがわかった。また、認知症で残存しやすい能力や、誰の顔かわからなくなっても表情や視線を読む力がかなり保たれていることについても 80%以上の人がある程度知っていたと回答しており、経験的によく理解されていると考えられた。一方「ミラーニューロン [5, 6]」という言葉や、脳の中で「誰の顔」と「表情や視線」の情報が別々に処理されているということについては [7, 8]、半数以上が「あまり知らなかった」、あるいは「全く知らなかった」とした。しかし、「笑顔が相手の心を幸せにする力を持っている仕組みが理解できましたか？」という問いに対しては 97%が「よく理解できた」、あるいは「まあまあ理解できた」と回答しており（図 3）、やや専門的な情報であっても、これらが内容の理解を深めるのに役立っていると考えられた。

Table 3: 個々の情報に対する既存知識

	よく知っていた	まあまあ知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった
言葉以外にコミュニケーションシグナルがあることはご存知でしたか？	48%	45%	5%	2%
気持ちを伝えるのに非言語シグナルが大切なことをご存知でしたか？	58%	38%	5%	0%
『ミラーニューロン』という言葉はご存知でしたか？	8%	22%	28%	42%
認知症になった場合でも、残存しやすい能力についてご存知でしたか？	38%	50%	13%	0%
「誰の顔」と「表情や視線」の情報は脳の中では別々に処理されていることはご存知でしたか？	11%	39%	42%	8%
認知症で「誰の顔」が分からなくなっても、「表情や視線」を読む力はかなり保たれていることはご存知でしたか？	31%	50%	17%	2%

笑顔が相手の心を幸せにする力を持っている仕組みが理解できましたか？

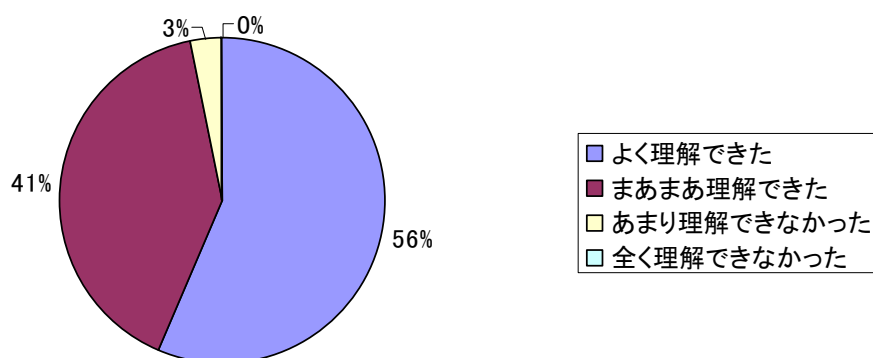


図 3

4. 日常の認知症ケアにおける非言語シグナル活用の実態

日常のケアの場面において、非言語シグナルの利用をどれだけ心がけているかの問いに対しては、約 8 割といった大多数の人が「いつも心がけている」と答えており、「時々心がけている」と合わせるとほぼ 9 割から 10 割となり、今回対象とした現場スタッフは非言語シグナルを用いたケアに対する意識がかなり高いとの結果を示した（Table 4）。一方、日常場面でにこにこりハの内容と同様の取り組みを行っているかの問いに対しては、古い写真を用いたコミュニケーションに対する回答を除くと約 7-8 割が「あまり行わない」あるいは「全く行ったことがない」と答えており、新たな取り組みのアイデアとして呈示することができたと考えられる。

Table 4: 日常ケアにおける非言語シグナルの心がけ

	いつも心掛けています	時々心掛けています	あまり心掛けていません	全く心掛けていません
P.8 『非言語シグナルを用いた介護』を読んで：このような接し方は日頃から心がけていましたか？	81%	19%	0%	0%
P.11～12 『にこにこりハ～実践編』を読んで：『あいさつ』について、このような接し方は日頃から心がけていましたか？	77%	16%	6%	2%
P.11～12 『にこにこりハ～実践編』を読んで：『コラム：視線を意識しましょう』について、このような接し方は日頃から心がけていましたか？	78%	20%	2%	0%

Table 5: 日常ケアにおけるにこにこリハの内容と同様の取り組み

	いつも行っている	時々行っている	あまり行わない	全く行っていない
P.13 『身支度』を読んで： 鏡を使ったこのような接し方を行うことがありますか？	3%	28%	59%	9%
P.14 『おしゃべり』を読んで： 古い写真などを使って、コミュニケーションに役立てることがありますか？	17%	55%	25%	3%
P.15 『顔体操』を読んで： このようなことを行ったことがありますか？	6%	21%	52%	21%
P.16 『レクリエーション』を読んで： このようなレクリエーションを行ったことがありますか？	5%	17%	50%	28%

5. 手引き書全体に対する評価

手引き書全体の構成についての評価を図4に示す。ボリュームとしては、「丁度よい」が6割近くを占めていた。「やや多い」とするものも3割弱あったが、逆に「やや物足りない」とする意見も約1割あったことより、ほぼ適切なボリュームとなっていると考えられた（図4：上）。文字の大きさやカラーといったデザインに関しては1/3以上の人「少し読みにくい」と答えた（図4：中）。低評価の理由は前述の通り、フォントの大きさや配色によるものがほとんどであり、これらの問題は改訂を通じて改善されているものと考えられる。イラストに関しては、約7割の人が「大変良い」もしくは「まあまあ良い」と評価しており、「あまり良くない」以下の評価が1割に満たないことから、概ね良好な評価が得られていると考えられる（図4：下）。また、イラストも低評価者のアドバイスを取り入れて改訂したため、完成版での評価は更に高くなっているものと期待される。

手引き書の有用性についての評価を図5に示す。「このパンフレットは認知症をケアする人に役立つと思いますか？」の質問に対しては、8割以上の人「大変役立つ」もしくは「まあ役立つ」と答えた（図5：上）。また「このパンフレットは認知症の方との接し方のヒントになると思いますか？」の質問に対しては、6割の人が「大いになる」と答え、「少しなる」と合わせると9割近くで有用性が評価された（図5：中）。同様に「にこにこリハを日常ケアに取り入れてみたいと思いますか？」の質問に対しても、6割以上の人「大いに思う」とし、「少し思う」と合わせて9割近くの人「にこにこリハの実践に興味を示していることがわかった」（図5：下）。以上、手引き書の有用性については全般的に高い評価が得られた。また、個別の感想としても、次のような肯定的な意見が多数寄せられた。

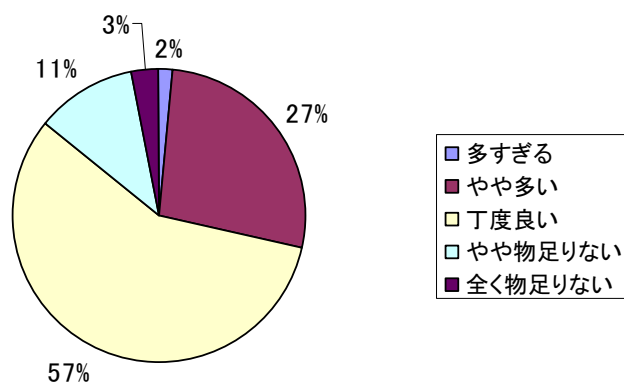
- コミュニケーション・表情・声の大切さは感じていましたが、冊子になるとその大切さを実感でき、意識付けることができ、とても良いと感じました。

- 介護する側のゆとり、心身の余裕などがもてなくなると笑顔でいられないこともあります。そんな時に読むといいパンフレットかなと思いました。
- 特に新人さんは読んだ方がいいと思います。
- 日ごろ、介護職の人が何気なく行っている事には意味があるのだということを理論的にまとめられているものになっていると感じた。介護職にとっては「こんな良い効果があるのか」と分かると、自身のモチベーションも上がり、良いケアを行うことができ、結果的には利用者にとって良いものになると思いました。
- 研究の経過を実際に見ていたのも、とても解りやすいパンフレットだと思った。
- 時間を設けて少しでも実践出来るよう努力したいと思う。
- イラストも可愛くて色使いも温かい優しい感じがして、とても良いと思いました。構成もとても分かりやすかったと思います。

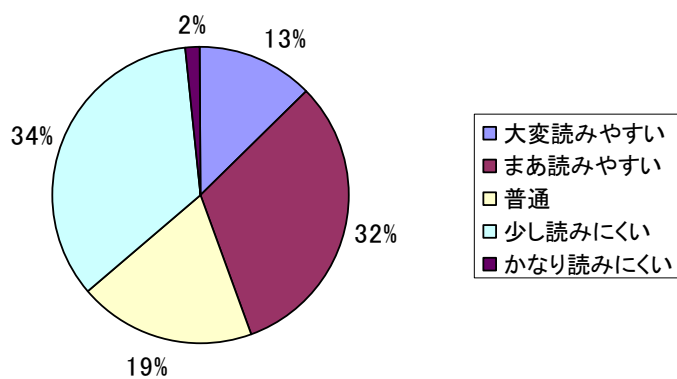
D. まとめ

- 1) これまでの研究成果を認知症ケアの現場に還元する目的で、「言葉以外のコミュニケーションを用いた認知症の介護とリハビリのご紹介」と題した手引き書を作成した。
- 2) 手引き書作成に当たっては、実際に認知症ケアの現場で働くスタッフ 65 名を対象に、アンケートで内容・表現・デザイン等についての評価を行ってもらい、その意見を手引き書にフィードバックしながら改訂を行い完成版に役立てた。
- 3) 同時に、手引き書の有用性についても評価を行ってもらったが、認知症ケアの現場スタッフから見て全般的に有用性が高いものと評価された。

全体的なボリュームについて



文字の大きさやカラーはいかがですか？



イラストの効果や印象はいかがですか？

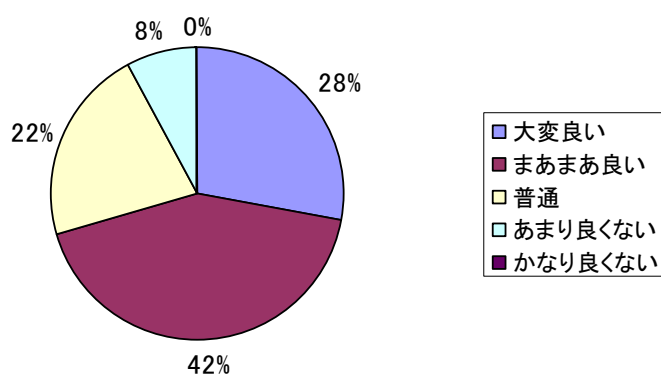
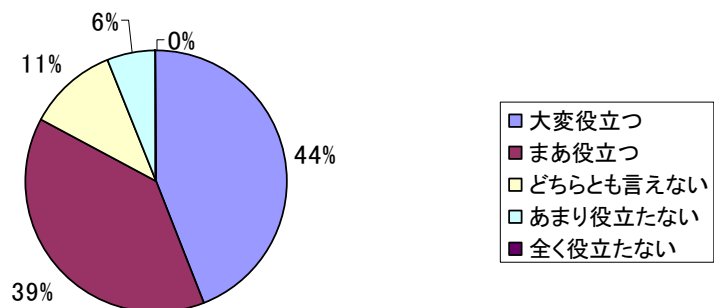
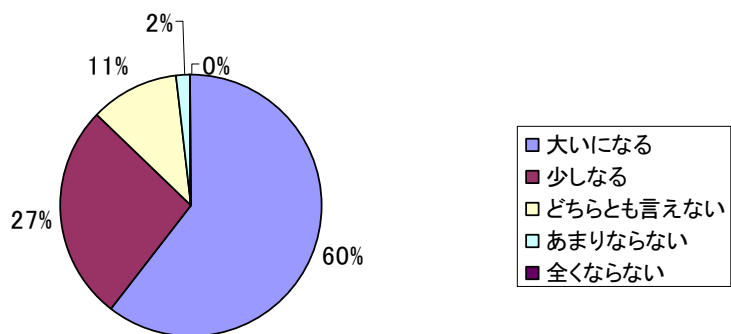


図 4: 手引き書全体の構成に対する評価

この手引書は認知症をケアする人に役立つと
 思いますか？



この手引書は認知症の方との接し方のヒントになると
 思いますか？



にこにこリハを日常ケアに取り入れてみたいと
 思いますか？

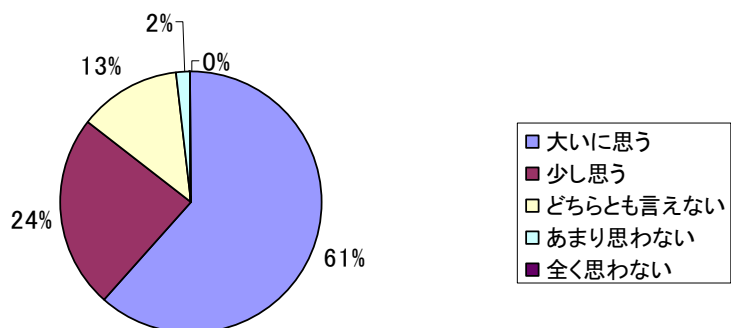


図 5: 手引き書の有用性の評価

E. 参考文献

1. 小長谷陽子,相原喜子,中村昭範,小笠原昭彦,井上豊子. 認知症における知的機能とコミュニケーション機能: 言語性、及び非言語性コミュニケーション情報認知機能に関する研究.老人保健健康増進等事業による研究報告書 平成 18 年度認知症介護研究報告書-認知症高齢者とその家族に対する生活支援とケア向上に関する研究事業, 61-66, 2007.
2. 小長谷陽子,相原喜子,中村昭範,小笠原昭彦. 認知症における知的機能とコミュニケーション機能: 言語性、及び非言語性コミュニケーション情報認知機能に関する研究.老人保健健康増進等事業による研究報告書 平成 19 年度認知症介護研究報告書 認知症介護におけるコミュニケーションに関する研究事業, 1-10, 2008.
3. 小長谷陽子,中村昭範,齊藤千晶,長屋政博,井上豊子. 認知症高齢者に対する非言語性コミュニケーションシグナルリハビリテーション (NCR) プログラムの開発と評価に関する研究.老人保健健康増進等事業による研究報告書 平成 20 年度認知症介護研究報告書 認知症介護におけるコミュニケーションに関する研究事業, 1-29, 2009.
4. 小長谷陽子,中村昭範,齊藤千晶,長屋政博,井上豊子,内田志保, 岡田寿夫. 認知症高齢者に対する非言語性コミュニケーションシグナルリハビリテーション (NCR) プログラムの開発と評価に関する研究.老人保健健康増進等事業による研究報告書 平成 21 年度認知症介護研究報告書 施設における認知症高齢者の進行予防および QOL 改善を目指したリハビリテーションの開発とその効果検証に関する研究事業, 26-65, 2010.
5. Rizzolatti, G., Fogassi, L., Gallese, V., Neurophysiological mechanisms underlying the understanding and imitation of action. *Nature Rev. Neurosci.* 2, 661-670. 2001.
6. Nakamura, A., Maess, B., et al. Cooperation of different neuronal systems during hand sign recognition. *Neuroimage* 23: 25-34. 2004.
7. Haxby, J.V., Hoffman, E.A., and Gobbini, M.I. The distributed human neural system for face perception. *Trends Cognit. Sci.* 4, 223-233. 2000.
8. Haxby, J.V., Hoffman, E.A., and Gobbini, M.I. Human neural systems for face recognition and social communication. *Biolog. Psychiat.* 51, 59-67. 2002.

『言葉以外のコミュニケーションを用いた認知症の介護とリハビリのご紹介』

パンフレットのアンケート調査のお願い

お世話になります。

私どもは現在、これまで取り組んできた非言語性コミュニケーションに関する研究成果を、認知症のケアにあたるスタッフの方に役立てていただく目的でパンフレットを作成しています。このパンフレットを有用な、よりよいものとして完成させるためには、現場で働く皆様のご意見を伺って反映することが何よりも重要と考えています。そこで、今回アンケートを実施し、お読みになった率直なご感想を教えてくださいたく存じます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力のほど、お願い申し上げます。

国立長寿医療研究センター 中村昭範
認知症介護研究・研修大府センター 齊藤千晶

アンケート実施方法について

- ・ 以下の設問に対して、適当な項目に○を付けて下さい。また、ご意見・ご要望・ご感想などがございましたらコメント欄にご自由にご記入下さい
- ・ 各ページ毎にアンケートをお答えいただく形になっていますので、アンケートとパンフレットをご一緒に並べてお進め下さい。尚、パンフレット自体に直接、ご意見・ご要望・ご感想などをご記載して頂いても構いません
- ・ 今回いただいた情報は厳重に管理し、パンフレット作成に役立てる目的以外には使用致しません
- ・ **尚、今回のパンフレットは製作途中ですので、アンケート後に回収させていただきます。アンケートともに封筒に入れていただき、ご提出を宜しくお願い申し上げます。**

① ご自身について教えてください

ご年齢()歳	性別: 男性 女性
職 種 : 介護職 看護職 その他()	
ご経験年数 : 約()年	

② 各ページ毎の内容についてご質問します

● 表紙について:

設問1. ケアスタッフの方にご興味を持って読んでいただく必要があります。その観点から見て、ご覧になった印象はいかがですか？

- | | | | | |
|----------|-----------|-------|------------|------------|
| 1. かなり良い | 2. まあまあ良い | 3. 普通 | 4. あまり良くない | 5. とても良くない |
|----------|-----------|-------|------------|------------|

上記で「4」・「5」とお答えをされた方に。具体的に良くないと思われたところを教えてください。

● P.1 『はじめに』を読んで

設問1. 本パンフレットを作成した目的がわかりましたか？

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|------------|
| 1. よくわかった | 2. まあまあわかった | 3. よくわからない | 4. 全くわからない |
|-----------|-------------|------------|------------|

設問2. 書いてある内容はわかりやすいですか？

- | | | | | |
|------------|--------------|-------|----------|-----------|
| 1. よく理解できた | 2. まあまあ理解できた | 3. 普通 | 4. 少し難しい | 5. かなり難しい |
|------------|--------------|-------|----------|-----------|

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.2 『目次』を見て

設問1. 見やすさはいかがですか？

- | | | | | |
|------------|-------------|-------|-----------|------------|
| 1. とても見やすい | 2. まあまあ見やすい | 3. 普通 | 4. 少し見にくい | 5. とても見にくい |
|------------|-------------|-------|-----------|------------|

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的によくないと思った部分を教えてください。

● P.3 『言葉以外のコミュニケーションシグナルって?』を読んで

設問1. 言葉以外にコミュニケーションシグナルがあることはご存知でしたか?

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問2. 書いてある内容はわかりやすいですか?

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.4 『気持ちを伝えるのが得意な非言語シグナル』を読んで

設問1. 気持ちを伝えるのに非言語シグナルが大切なことをご存知でしたか?

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問2. 書いてある内容はわかりやすいですか?

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.5 『笑顔はなぜ人の気持ちを幸せにするの?』を読んで

設問1. 『ミラーニューロン』という言葉はご存知でしたか?

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問2. 笑顔が相手の心を幸せにする力を持っている仕組みが理解できましたか?

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 全く理解できなかった

設問3. 書いてある内容はわかりやすいですか?

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.6 『あなたの笑顔を見えています:認知症と非言語シグナル』を読んで

設問1. 認知症になった場合でも、残存しやすい能力についてご存知でしたか？

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問2. 書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.7 『誰の顔かわからない＝顔からの情報が読めないわけではありません』を読んで

設問1. 「誰の顔」と「表情や視線」の情報は脳の中では別々に処理されているということをご存知でしたか？

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問2. 認知症で「誰の顔」が分からなくなっても、「表情や視線」を読む力はかなり保たれていることはご存知でしたか？

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問3. 書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.8 『非言語シグナルを用いた介護』を読んで

設問1. このような接し方は日頃から心がけていましたか？

1. いつも心がけている 2. 時々心がけている 3. あまり心がけてない 4. 全く心がけていない

設問2. 書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.9～10 『にこにこリハのご紹介』を読んで

設問1. にこにこリハとはどのようなものか分かりましたか？

1. よくわかった 2. まあまあ分かった 3. あまりよくわからなかった 4. 全くわからなかった

設問2. にこにこリハの効果について分かりましたか？

1. よくわかった 2. まあまあ分かった 3. あまりよくわからなかった 4. 全くわからなかった

設問3. 書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.11～12 『にこにこリハ～実践編～ 日常生活への活用のヒント』を読んで

設問1. 『あいさつ』について、このような接し方は日頃から心がけていましたか？

1. いつも心がけている 2. 時々心がけている 3. あまり心がけてない 4. 全く心がけていない

設問2. 『コラム：視線を意識しましょう』について、日頃から心がけていましたか？

1. いつも心がけている 2. 時々心がけている 3. あまり心がけてない 4. 全く心がけていない

設問3. P.11, 12に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.13 『身支度』を読んで

設問1. 鏡を使ったこのような接し方を行うことがありますか？

1. いつも行っている 2. 時々行っている 3. あまり行わない 4. 全く行ったことがない

設問2. 『コラム：認知症と自分の顔』について、内容をご存知でしたか？

1. よく知っていた 2. まあまあ知っていた 3. あまり知らなかった 4. 全く知らなかった

設問3. P13に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● **P.14 『おしゃべり』を読んで**

設問1. 古い写真などを使って、コミュニケーションに役立てることがありますか？

1. よく行っている 2. 時々行っている 3. あまり行ったことがない 4. 全く行ったことがない

設問2. 『コラム：声の表情にも気をつけて』について、このような接し方は日頃から心がけていましたか？

1. いつも心がけている 2. 時々心がけている 3. あまり心がけてない 4. 全く心がけていない

設問3. P14に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● **P.15 『顔体操』を読んで**

設問1. このようなことを行ったことがありますか？

1. よく行っている 2. 時々行っている 3. あまり行ったことがない 4. 全く行ったことがない

設問3. P15に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.16 『レクリエーション』を読んで

設問1. このようなレクリエーションを行ったことがありますか？

1. よく行っている 2. 時々行っている 3. あまり行ったことがない 4. 全く行ったことがない

設問3. P16に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.17 『にこにこリハの実践から』を読んで

設問1. このようなスタッフの声を読んで、にこにこリハに興味がありますか？

1. 非常にわく 2. まあまあわく 3. あまりわかない 4. 全くわかない

設問3. P17に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

● P.18 『おわりに』を読んで

設問3. P17に書いてある内容はわかりやすいですか？

1. よく理解できた 2. まあまあ理解できた 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。具体的に難しいと思った言葉・表現を教えてください。

③ 全体を通して

設問1. 全体的な内容は分かりやすかったですか？

1. 大変分かりやすい 2. まあまあ分かりやすい 3. 普通 4. 少し難しい 5. かなり難しい

設問2. 全体的なボリュームについて

1. 多すぎる 2. やや多い 3. 丁度よい 4. やや物足りない 5. 全く物足りない

設問3. デザインについて:文字の大きさやカラーはいかがですか？

1. 大変読みやすい 2. まあ読みやすい 3. 普通 4. 少し読みにくい 5. かなり読みにくい

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。具体的に文字の大きさ、カラー、デザイン等で改善した方がいいと思われる点がございましたら教えて下さい。

--

設問4. イラストについて:イラストの効果や印象はいかがです？

1. 大変良い 2. まあまあ良い 3. 普通 4. あまり良くない 5. かなり良くない

上記で「1」以外のお答えをされた方にご質問します。具体的に改善した方がいいと思われるものがございましたら教えて下さい。(パンフレットに直接ご記入していただいても構いません)

ページ	改善が必要な点

設問5. このパンフレットは認知症をケアする人に役立つと思いますか？

1. 大変役立つ 2. まあ役立つ 3. どちらとも言えない 4. あまり役立たない 5. 全く役立たない

上記で「4」「5」のお答えをされた方に。あまり役立たないと思われる理由を教えてください。

--

設問6. このパンフレットは認知症の方との接し方のヒントになると思いますか？

1. 大いになる 2. 少しなる 3. どちらとも言えない 4. あまりならない 5. 全くならない

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。ヒントにならないと思われる理由を教えてください。

--

設問7. にこにこリハを日常ケアに取り入れてみたいと思いますか？

1. 大いに思う 2. 少し思う 3. どちらとも言えない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

上記で「4」・「5」のお答えをされた方に。取り入れてみたいと思わない理由を教えてください。

--

その他、全体をご覧になった感想や、ご意見、ご要望等、なんでもご自由にご記入ください

--

ご協力ありがとうございました